

## 1. R S P 事業により蓄積されたシーズ/ニーズの実績

## シーズの把握

- No.1 平成11年度 氏名：宮崎 純一（大阪大学大学院 医学系研究科・教授）  
 専門分野：バイオ・医療  
 研究シーズ：特異的で効率の高いCre/loxP 組換え系を用いた高効率アデノウイルスベクターの作製法  
 コーディネート成果：バイオテクノロジー分野への業務進出を模索していたオリエンタル酵母工業(株)とのコーディネートを行い、権利化試験に採択されて実用化研究を行った後、同社へ技術移転され受託事業として商品化された。
- No.2 平成11年度 氏名：阪中 雅広（愛媛大学医学部・教授）  
 専門分野：バイオ・医療  
 研究シーズ：薬用人参の一成分であるジンセノサイド Rb1; が有する強力な神経細胞保護作用  
 コーディネート成果：研究シーズに興味を示した千寿製薬(株)と組ませ、権利化試験に応募、採択され共同研究開発を進めた。
- No.3 平成11年度 氏名：森 勇藏（大阪大学大学院工学研究科・教授）  
 専門分野：生産技術  
 研究シーズ：超純水中のOH<sup>-</sup>の電気化学作用と超高速剪断流を利用した超精の開発  
 コーディネート成果：研究シーズの実用化を図るために、平成11年度育成試験で(株)ジェイテックと共同研究を企画し、同社におもにソフトの開発を担当させた。
- No.4 平成12年度 氏名：黒田 俊一（大阪大学産業科学研究所・助教授）  
 専門分野：バイオ・医療  
 研究シーズ：たんぱく質中空ナノ粒子を用いる遺伝子・組織へのピンポイント導入法の実用化研究  
 コーディネート成果：ドラッグデリバリーシステムの技術を有する久光製薬(株)との共同研究を取り持ち権利化試験に採択され、基本特許の周辺の権利化を行った。
- No.5 平成12年度 氏名：桜井 弘、小嶋 良種（京都薬科大学・教授、大阪市立大学・教授）  
 専門分野：バイオ・医療  
 研究シーズ：in vitro で高いインスリン様活性をもつ亜鉛（ ）錯体の糖尿病治療薬としての開発研究  
 コーディネート成果：浜里薬品工業(株)が小嶋教授のシーズに興味を持っていることを知り、権利化試験に応募することを勧め、申請内容等につき検討した。

- No.6 平成12年度 氏名：桜井 弘、 小嶋 良種（京都薬科大学・教授、大阪市立大学・教授）  
専門分野：バイオ・医療  
研究シーズ：天然物誘導体を錯体配位子とする in vivo で低毒性かつ高い血糖降下作用をもつ亜鉛（ ）錯体の開発研究  
コーディネート成果：浜里薬品工業(株)が小嶋教授の新たなシーズに興味を示したことから、独創的研究成果育成事業に応募することを勧め、申請内容等につき検討した。
- No.7 平成12年度 氏名：三宅 正司（大阪大学接合科学研究所・教授）  
専門分野：生産技術  
研究シーズ：低インダクタンスの内部アンテナを多数配置した真空容器中で、高密度・大面積でかつ材料に対して低損傷の誘導結合型プラズマを生成する技術を用いて結晶構造を制御したポリシリコン薄膜を大型ガラス基板上へ形成する技術  
コーディネート成果：三宅先生の技術を企業化するため、ベンチャーを立ち上げる方策を立て、日新電機(株)の江部明憲氏を企業化責任者としてプレベンチャーに応募採択され、平成14年11月に起業。
- No.8 平成13年度 氏名：中山 弘（大阪市立大学工学研究科・教授）  
専門分野：新素材・デバイス  
研究シーズ： $Mn_4N$ などの磁性化合物の析出をともなう窒化物磁性半導体（AlN、GaN、InNなど）薄膜あるいは多層膜の作製方法  
コーディネート成果：シャープ(株)が中山教授のシーズに興味を示したことから、権利化試験に応募することを勧め、申請内容等につき指導した。
- No.9 平成13年度 氏名：大嶋 隆一郎（大阪府立大学先端科学研究所・教授）  
専門分野：新素材・デバイス  
研究シーズ：金属塩水溶液に界面活性剤、高級アルコール類などを添加し、高出力の超音波を照射して、水溶液中の金属イオンを還元し、金属の超微粒子を作製する技術  
コーディネート成果：平成11年度育成試験の成果を大研化学工業(株)に紹介し、独創的研究成果育成事業に応募したところ採択された。
- No.10 平成13年度 氏名：工位 武治、小嶋 良種（大阪市立大学理学研究科・教授）  
専門分野：新素材・デバイス  
研究シーズ：蓄光材料に耐水性を付与する事により耐久性を向上し、有機溶剤を使わない水系のインク、塗料の開発研究  
コーディネート成果：工位、小嶋両教授のシーズに興味を示した東洋スクリーン工業から独創的研究成果育成事業に応募することを勧め申請内容につき検討した。

- No.11 平成13年度 氏名：戸倉 清一（関西大学工学部・教授）  
専門分野：新素材・デバイス  
研究シーズ：ゼラチン繊維を用いた高速生体吸収性医用材料の開発研究  
コーディネート成果：ゼラチン繊維の製造技術に関する戸倉教授のシーズを甲陽ケミカル(株)とともに検討し、独創的研究成果育成事業に応募、採択された。
- No.12 平成13年度 氏名：町田 憲一（大阪大学先端科学技術共同研究センター・教授）  
専門分野：生産技術  
研究シーズ：磁性材料微粉末に亜鉛、インジウム等の金属を被覆し耐久性を付与する装置開発  
コーディネート成果：町田教授のシーズを企業化したいという企業（株レスカ）があると知り、独創的研究成果育成事業に応募するよう勧め、内容を検討した。
- No.13 平成13年度 氏名：町田 憲一（大阪大学先端科学技術共同研究センター・教授）  
専門分野：生産技術  
研究シーズ：希土類磁石からNd、Smなどの金属を有効に回収する装置開発  
コーディネート成果：町田教授のシーズを企業化したいという企業（株美和製作所）があると知り、独創的研究成果育成事業に応募するよう勧め、内容を検討した。
- No.14 平成13年度 氏名：戸倉 清一（関西大学工学部・教授）  
専門分野：新素材・デバイス  
研究シーズ：ゼラチン繊維を用いた高速生体吸収性医用材料の研究  
コーディネート成果：戸倉教授の成果によりベンチャーを立ち上げる人材があることを知り、プレベンチャーに応募することを勧め、内容を検討した。
- No.15 平成13年度 氏名：町田 憲一（大阪大学先端科学技術共同研究センター・教授）  
専門分野：生産技術  
研究シーズ：燃料電池による水電気分解により発生する水素は燃料として、酸素は酸素供給源として利用するシステム開発  
コーディネート成果：町田教授の成果によりベンチャーを立ち上げる人材があることを知り、プレベンチャーに応募することを勧め、内容を検討した。
- No.16 平成13年度 氏名：町田 憲一（大阪大学先端科学技術共同研究センター・教授）  
専門分野：生産技術  
研究シーズ：小型希土類磁石を金属被覆により安定化し、それを用いた超小型モーターの開発  
コーディネート成果：希土類磁石を金属被覆により安定化する技術を用い、超小型モーターを開発するプロジェクトを組み、研究成果プラザ大阪の育成研究に応募、採択された。採択後は、プラザコーディネータとして、研究の進捗管理に携わった。（参画企業：並木精密宝石(株)、住友特殊金属(株)）

- No.17 **平成13年度 氏名**：谷口 一雄（大阪電気通信大学 工学部 教授）  
**専門分野**：評価・計測  
**研究シーズ**：X線検査装置、分光分析装置では試料の条件でX線源を交換して、最適エネルギーを選択していた。X線管内に複数のターゲットの一つを選択でき、照射方向も一定のX線源  
**コーディネート成果**：X線分析装置の大手である理学電機に、このX線源の有用性をPRし、このX線源を用いて小型の分析装置を製品化する企画を立て、応募した。採択されなかったため、他のX線源を用いた分析装置を製品化した。
- No.18 **平成13年度 氏名**：野島 博（大阪大学 微生物病研究所・教授）  
**専門分野**：バイオ・医療  
**研究シーズ**：発現特化型第2世代cDNAマイクロアレイ作製技術の実用化  
**コーディネート成果**：平成13年度のプラザ育成試験の提案書の作成にあたり、研究計画、事業化構想、共同研究企業に関する助言を行い、同提案は採択された。（参画企業：(株)東洋紡績、タカラバイオ(株)、(株)ジーンデザイン）
- No.19 **平成13年度 氏名**：梶本 宣永（大阪医科大学 脳神経外科 講師）  
**専門分野**：バイオ・医療  
**研究シーズ**：手術野で変形移動する腫瘍等の局所情報を蛍光標識剤で標識した病巣を光ファイバー型の病巣センサーで検地し、正確に、迅速かつ的確な手術を支援し、ガンなどを治療するセンサー型手術ロボット  
**コーディネート成果**：大阪では大手の医療器具製造、販売会社である村中医療機器の取締役技術部長にPR，村中では米国、ドイツでこの製品のニーズ調査を行い、非常に有望との結論。また、この製品の製造先として近計の社長に話、共同して、行うことになった。
- No.20 **平成13年度 氏名**：小嶋 良種、桜井 弘、谷口 洋（大阪市立大学大学院理学研究科・教授、京都薬科大学・教授、神戸大学医学部・教授）  
**専門分野**：バイオ・医療  
**研究シーズ**：天然物誘導体を錯体配位子とする降下作用をもつ垂鉛（ ）錯体の健康補助食品への応用と経口糖尿病予防薬、治療薬としての応用研究  
**コーディネート成果**：天然物誘導体を健康補助食品として販売している(株)有田酵素化学研究所が小嶋教授らの成果に注目し、共同開発を進めた結果健康補助食品として商品化に成功した。
- No.21 **平成13年度 氏名**：津山 伸吾（大阪府立大学大学院農学生命科学研究科・教授）  
**専門分野**：バイオ・医療  
**研究シーズ**：生体内一酸化窒素による病態モニター  
**コーディネート成果**：津山教授には平成12年度のRSP育成試験に関連テーマの研究

をやって頂いていたので、先生が関係している企業と組んでプラザ育成研究に応募して頂いたが不採択であった。

No.22 平成13年度 氏名：中山 喜萬（大阪府立大学工学研究科・教授）

専門分野：新素材・デバイス

研究シーズ：A F Mの探針に接合した2本のカーボンナノチューブに電圧を与圧・遮断することにより開閉するナノサイズのピンセットの開発研究

コーディネート成果：中山教授のアイデアを実現するためには、A F Mにカーボンナノチューブを接合する技術を有する大研化学工業以外にA F Mメーカーの参画が必要と判断し、(株)ユニソクを紹介しコンソーシアムを組織、地域コンソーシアムに応募、採択された。

No.23 平成13年度 氏名：梶本 宣永（大阪医科大学 脳神経外科・講師）

専門分野：バイオ・医療

研究シーズ：手術野で変形移動する腫瘍等の局所情報を蛍光標識剤で標識した病巣を光ファイバー型の病巣センサーで検地し、正確に、迅速かつ的確な手術を支援し、ガンなどを治療するセンサー型手術ロボット

コーディネート成果：村中医療機器の取締役技術部長にP R，村中では米国、ドイツでこの製品のニーズ調査を行い、非常に有望との結論。また、この製品の製造先として(株)近計の社長に話、共同して、行うことになった。平成13年度地域新生コンソーシアム事業に応募したが不採択であった。

No.24 平成14年度 氏名：中山 弘（大阪市立大学工学研究科・教授）

専門分野：新素材・デバイス

研究シーズ：M n 4 Nなどの磁性化合物の粒状析出にともなうS i N、G a N強磁性半導体の作製方法

コーディネート成果：シャープ(株)が中山教授の新たなシーズに興味を示したことから、権利化試験に応募することを勧め、申請内容等につき指導した。

No.25 平成14年度 氏名：梶本 宣永（大阪医科大学 脳神経外科・講師）

専門分野：バイオ・医療

研究シーズ：手術野で変形移動する腫瘍等の局所情報を蛍光標識剤で標識した病巣を光ファイバー型の病巣センサーで検地し、正確に、迅速かつ的確な手術を支援し、ガンなどを治療するセンサー型手術ロボット

コーディネート成果：光ファイバー、レーザ光制御技術が得意な(株)オプテックにこの技術の紹介を行い、非常に興味を持ってもらった。平成14年度独創モデル化に応募したが不採択であった。

No.26 平成14年度 氏名：竹田 潤二（大阪大学先端科学共同研究センター・教授）

専門分野：バイオ・医療

**研究シーズ：**トランスポゾンによる網羅的変異マウス作製

**コーディネート成果：**平成13年度に関連テーマでRSP育成試験を実施した後、事業化構想に関して助言を行い、平成14年度のプレベンチャー事業に応募、採択された。

No.27 **平成14年度 氏名：**小林 昭雄（大阪大学工学研究科・教授）

**専門分野：**バイオ・医療

**研究シーズ：**細胞内に複数種類の蛍光物質を存在させ、フェムト秒レーザー光走査により蛍光の時間的消長、空間的移動、波長変調などを通じて、細胞の生理状態を観察する技術

**コーディネート成果：**大阪科学技術センターに設置された関西ナノテクノロジー推進会議の研究会を科学技術コーディネータがサポートする中で生まれたテーマで、プラザ大阪の育成研究に応募したが不採択であった。（参画企業：クラスターテクノロジー㈱、東京インスツルメンツ、㈱フクダセイコー）

No.28 **平成14年度 氏名：**川本 俊治（大阪府立大学工学研究科・教授）

**専門分野：**情報・通信

**研究シーズ：**カオス方程式で繰り返し誤差が集積しない計算アルゴリズムを発明した。これの応用としての安全で高速に優れた情報システム構築技術

**コーディネート成果：**(株)グレースシステムはソフト関連で実績をあげており、旧知の吉村常務にPRすると、非常に興味を示し、共同研究することになった。平成14年度プラザ大阪育成研究に応募したが不採択になった。その後、企業化はできた。

No.29 **平成14年度 氏名：**小南 昌信（大阪電気通信大学工学部・教授）

**専門分野：**情報・通信

**研究シーズ：**音波、電磁波を同時に吸収する材料を多幸質セラミック材料をベースに開発

**コーディネート成果：**電磁波吸収や遮蔽機能を持つ材料を開発し、建築、土木材料としての事業化を図る。そのため、小田建設、松村組とのマッチングを図った。平成14年度プラザ大阪育成研究に応募したが不採択であった。

No.30 **平成14年度 氏名：**片山 佳樹、谷澤 克行（九州大学大学院工学研究科・教授、大学産業科学研究所・教授）

**専門分野：**バイオ・医療

**研究シーズ：**ゲノム研究成果産業利用のための細胞内シグナル網羅的解析技術

**コーディネート成果：**関西ナノテクノロジー推進会議の研究会で研究者と企業のマッチングを図り、NEDOの基盤技術研究促進事業に応募して採択された。（参画企業：東洋紡(株)三菱電機(株)藤沢薬品工業(株)）

- No.31 **平成14年度** 氏名：中山 正昭（大阪市立大学 大学院 工学研究科・教授）  
専門分野：新素材・デバイス  
研究シーズ：CuIを原料とする高性能薄膜シンチレータの研究  
コーディネート成果：(株)エックスレイプレシジョンが中山教授の平成12年度育成試験成果を組み込んだ装置開発を地域新生コンソーシアム（中小）に応募、採択された。（参画企業：(株)エックスレイプレシジョン、春日製作所(株)、二九精密機械工業(株)）
- No.32 **平成15年度** 氏名：高木 睦（大阪大学生物工学国際交流センター・助教授）  
専門分野：バイオ・医療  
研究シーズ：細胞及び再生組織の隔離自動培養装置の開発  
コーディネート成果：平成14年度のRSP育成試験課題に関連したテーマで平成15年度独創モデル化事業への応募にあたり、助言し、採択された。（参画企業：ジーンワールド(株)）
- No.33 **平成15年度** 氏名：大松 繁（大阪府立大学工学研究科・教授）  
専門分野：情報・通信  
研究シーズ：ニューラルネットワークと画像処理技術を組み合わせた高度な外観検査装置の作製技術  
コーディネート成果：ゼネラル薬工粉河のニーズをトリオ電気が大松先生の指導で開発する。和歌山県工業技術センターと一緒に共同研究企業を探した。独創モデル化に応募したが、不採択であった。
- No.34 **平成15年度** 氏名：志水 英二（宝塚造形芸術大学・教授）  
専門分野：バイオ・医療  
研究シーズ：ホログラフィック光学素子を用いて視点が限定されることなく広い視野をもつ網膜投影ディスプレイが水晶体の一部機能不全や網膜障害（緑内障、加齢性黄斑変性等）による低視力者に対して鮮明な映像を知覚させることができる臨床試験システムを応用した低視力者網膜投影めがねの開発  
コーディネート成果：平成15年度のプレベンチャー事業に応募して採択された。
- No.35 **平成15年度** 氏名：野島 博、北 泰行、伊藤 彰彦（大阪大学微生物病研究所・教授、薬学研究科・教授、医学系研究科・助手）  
専門分野：バイオ・医療  
研究シーズ：新しい癌転移予知・予防剤の開発  
コーディネート成果：平成12年度RSP育成試験および、基盤となる有用特許出願の橋渡しを行ったのち、平成15年度の委託開発事業に応募したが採択されなかった。（提案企業：(株)ナード研究所）

- No.36 **平成15年度** 氏名：掛樋 一晃（近畿大学薬学部・教授）  
専門分野：バイオ・医療  
研究シーズ：複合糖質中の糖鎖の超高速分析技術の開発と実用化  
コーディネート成果：RSP 育成試験による特許と橋渡しした有用特許をもとに、平成15年度のプラザ育成研究に応募したが採択されなかった。  
（参画予定企業：東京化成工業(株)）
- No.37 **平成15年度** 氏名：西川 淳一（大阪大学大学院薬学研究科・助教授）  
専門分野：バイオ・医療  
研究シーズ：ハイスループット型核内受容体リガンド検出法を用いた病態予測システムの開発  
コーディネート成果：育成試験に関連した課題で平成15年度プラザ育成研究に応募したが採択されなかった。しかし、企業（住友化学工業(株)）が乗り気になっているので共同研究を進める予定。
- No.38 **平成15年度** 氏名：辻 幸一（大阪市立大学大学院工学研究科・助教授）  
専門分野：評価・計測  
研究シーズ：超小型蛍光X線分析装置を可能にするX線全反射装置の開発  
コーディネート成果：辻教授の特許に基づいて超小型蛍光X線装置の開発が可能と判断し、(株)エックスレイプレジジョンとともに提案書を作成、平成15年度プラザ大阪育成研究に応募した。
- No.39 **平成15年度** 氏名：黒田 俊一（大阪大学産業科学研究所・助教授）  
専門分野：バイオ・医療  
研究シーズ：実験動物各臓器や培養細胞に対して遺伝子・タンパク質・薬剤をピンポイントに送達する中空バイオナノ粒子の開発  
コーディネート成果：基本となる技術の有用特許での出願および平成12年度権利化試験応募などで支援してきたテーマである。平成15年度プラザ育成研究への応募にあたり、事業化構想などの助言を行い、試薬メーカーと組んで試薬での発売を目指す課題で採択された。（参画企業：和光純薬工業(株)、(株)ピークル）
- No.40 **平成15年度** 氏名：切畑 光統（大阪府立大学大学院工学研究科・教授）  
専門分野：環境・福祉  
研究シーズ：環境汚染化学物質を高感度で迅速かつ安価に測定する技術として、抗原-抗体反応を利用したハイスループット分析法  
コーディネート成果：日経バイオビジネスのベンチャーフラッシュとして取り上げられていたので、共同研究をお願いし、プラザ大阪育成研究に応募したが不採択であった。（参画予定企業：(株)エンバイオテック・ラボラトリーズ）



- No.41 **平成15年度 氏名**：福永 邦雄（大阪府立大学大学院工学研究科・教授）  
**専門分野**：情報・通信  
**研究シーズ**：人物写真とか風景写真の撮影において、撮影者に推薦するデジタルカメラの最適撮影領域自動設定とテレビカメラの動的シーンの自動映像収録技術  
**コーディネート成果**：デジタルカメラ、カメラ付き携帯電話にオートアングル機能、またテレビ映像自動収録システムを必要としている松下電器で企業化するためプラザ大阪育成研究応募した。しかし、不採択であった。（参画予定企業：パナソニック情報(株)）
- No.42 **平成15年度 氏名**：平井 義彦（大阪府立大学大学院工学研究科・教授）  
**専門分野**：新素材・デバイス  
**研究シーズ**：マイクロ・ナノ寸法での積層3次元プロセスによる立体配管構造とセンサー、集積回路を一体化したバイオ・化学分析システムチップ  
**コーディネート成果**：システムLSIを混載したバイオ・化学分析チップに応用でき、そのニーズと基本技術を持っている松下電器と組み応募した。しかし、不採択であった。（参画予定企業：松下電器産業(株) リソテックジャパン(株)）
- No.43 **平成15年度 氏名**：梶本 宜永（大阪医科大学・講師）  
**専門分野**：バイオ・医療  
**研究シーズ**：手術野で変形移動する腫瘍等の局所情報を蛍光標識剤で標識した病巣を光ファイバー型の病巣センサーで検地し、正確に、迅速かつ的確な手術を支援し、ガンなどを治療するセンサー型手術ロボット。  
**コーディネート成果**：手術用超音波メスで国内シェア60%をもつミワテック(株)で、この超音波メスを使用して自動的にガンの手術が可能なセンサー型ロボットをH14年の加工費で試作した。これを用いて動物実験を行うためデータ補完に応募し採択となった。
- No.44 **平成15年度 氏名**：中山 喜萬（大阪府立大学工学研究科・教授）  
**専門分野**：新素材・デバイス  
**研究シーズ**：プラザ大阪での研究成果である、カーボンナノコイルが電波等の吸収に非常に優れているので、これを応用した提案  
**コーディネート成果**：平成16年度権利化試験に応募するため、プラザ大阪の共同参画企業に声をかけ、参画企業全社が一緒に行くことになった（参画予定企業：大研化学工業(株)、大陽東洋酸素(株)、日新電機(株)、大塚化学(株)）
- No.45 **平成15年度 氏名**：野島 博（大阪大学微生物病研究所・教授）  
**専門分野**：バイオ・医療  
**研究シーズ**：新しいRNA血液診断システムの開発  
**コーディネート成果**：基本技術の有用特許出願および平成13年度のプラザ育成研究の応募の支援を行い、順調に研究が進行し、一部商品化に成功した。しかし、

関連した技術からさらに多くの実用化が期待されるので平成16年度の権利化試験に応募した。(参画予定企業：タカラバイオ(株))

## ニーズの把握

### <平成11年度>

- No.1 **企業名：**(株)タクマ(所在地：兵庫県尼崎市金楽寺町 従業員数：822名)  
**特徴的な保有技術等：**環境設備プラント、ボイラー製造などグリーンテクノロジー  
**技術ニーズ：**同社は環境設備プラントの中堅メーカーとしてグリーンテクノロジーの開発を志向していたので阪大工・藤田教授の「白色腐朽菌を活用した難分解性物質の処理プロセス」の研究成果とのマッチングを図り、緊急育成試験でパイロットプラントを作製して実用化を目指している。(対応シーズ研究者：大阪大学工学研究科 藤田 正憲 教授)
- No.2 **企業名：**ヤエガキ醗酵技研(株)(所在地：兵庫県姫路市林田町 従業員数：120名)  
**特徴的な保有技術等：**微生物培養技術  
**技術ニーズ：**上記課題で必要な培養技術を有する同社に、白色腐朽菌の培養と固定化のプロセス担当を取り図った。(対応シーズ研究者：大阪大学工学研究科 藤田 正憲 教授)
- No.3 **企業名：**旭化成(株)(所在地：大阪市北区堂島浜 従業員数：14,700名)  
**特徴的な保有技術等：**化学工学一般  
**技術ニーズ：**ろ過膜の用途開発を志向していた同社には上記課題でバイオリアクターの水処理用膜ろ過技術の開発を分担して貰った。(対応シーズ研究者：大阪大学工学研究科 藤田 正憲 教授)
- No.4 **企業名：**大研化学工業(株)(所在地：大阪市城東区放出西 従業員数：85名)  
**特徴的な保有技術等：**電子材料用貴金属・卑金属粉末、ハイテク素材  
**技術ニーズ：**同社は、AFMカンチレバーにカーボンナノチューブを接合する技術を有していたが、その応用展開を模索していた。AFMチャンバ内でナノオーダーの物体をつまむカーボンナノチューブピンセットを開発するという中山教授のアイデアとその技術を生かす道を見いだした。(対応シーズ研究者：大阪府立大学工学研究科 中山 喜萬 教授)
- No.5 **企業名：**(株)ユニソク(所在地：大阪府枚方市春日野 従業員数：22名)  
**特徴的な保有技術等：**高速分光測定器や走査型トンネル顕微鏡など、先端的な測定機器の開発と製品化  
**技術ニーズ：**ナノピンセットの実現には、AFMメーカーの技術が必須で、(株)ユニソクも新しいAFM関連技術の展開に共同研究で応じた。(対応シーズ研究者：大阪府立大学工学研究科 中山 喜萬 教授)